



# 関中学校だより

第3号 令和4年7月20日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-kyo.ed.jp/>

## 夏休み ～学習と読書を上手に織り交ぜながら～

校長 大澤 秀吉

おはようございます。

今日は、夏休みに取り組んでもらえたら良いなと考えていることを話します。

夏休みといえば、皆さんは何が思い浮かびますか？

夏休みに様々なことを計画していると思いますが、ここで学習という言葉を私なりに定義してみます。

- 学習とは
- ① 共通した答えがあるもの
  - ② 「～のために」と目標が明確であるもの
  - ③ 習ったことを繰り返すことで身に付けるもの

教科書を使った小学校、中学校、高等学校で行われる教科の学びは、学習になります。もちろん高校入試のための勉強も学習です。

試験に出るか出ないかの選択基準が存在するのも学習です。

答えがあるので、解き方等を教えてもらえるもの学習です。

ここまで聞いて、どうですか？答えが決まっていて、繰り返し作業を通じて習得するようになっていますね。ここには多様な考え方は存在していないように見えます。

でも、みなさんは学校行事などを通じて、答えや考え方が決まっていないこと、人それぞれであることを学んできました。ではこの夏休みに、どうやって多様で柔軟な思考を身に付けたらよいのか、私のお勧めは読書です。体験活動もお勧めなのですが、現在の感染拡大状況を考えると難しいですね。

読書を通じて、新たな自分の感性・何も知らない自分・自分の可能性・世界は答えが出ていないものの方が多いこと等をぜひ発見してください。

特に3年生は、「できる、できない」「解ける、解けない」「覚えている、覚えていない」という、答えが決まっている思考回路パターンに囚われ、自分を点数等で評価してしまいます。そんな時、答えが決まっていない思考が必要になります。忘れずに読書の時間をとってください。良い夏休みを過ごしてください。

【校長講話より】

【保護者の皆様へ】

各学年で、様々な取り組みをしてきました。

これらの取り組みを通じて生徒たちは他者との関わり方や様々な考え方があることを知り、試行錯誤を繰り返しながら成長しています。

1学期も無事終わることが出来ました。2学期もよろしくお願いいたします。

